上尾市立大石南小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

《心豊かでたくましい子の育成》
〇思いやりのある子（徳）　〇よく考える子（知）　〇元気な子（体）

学校課題研究主題

「主体的に学び、自らの考えや思いを適切に表現することができる児童の育成」
～読むことを愉しませる発問の追究～

学力・学習状況調査の結果

R８全国学力・学習状況調査

・国語、算数ともに平均正答率は全国平均を下回る結果である。
・国語では、「書くこと」の正答率が全国平均と同等であるが、目的に応じて必要な情報を見つける問題や文脈の中で適切な漢字を選択する問題の正答率が低い。既習漢字の定着や文章の要点を捉えることに課題が見られる。
・算数では、「データ活用」に関する問題や「変化と関係」の中でも割合の概念に関する問題の正答率が特に低い傾向にある。問題の場面の情報を適切に処理する力の弱さが見られる。

R８埼玉県学力・学習状況調査

・学力レベルの平均は、埼玉県と比較して、１～２レベル下回っているが、５年生の国語は同集団の昨年度のレベルと比較して、４レベル上昇している。
・学力を伸ばした児童の割合は、国語では全学年が県平均を上回っている。
・中位層の学力が、国語では大きく伸びた一方で、算数の伸びは小さい。
・非認知能力の自己効力感の項目の数値が埼玉県と比較して低い。
・「情報を整理して論理的に組み立てる力」に課題が見られる。

R７ 上尾市立小・中学校学力調査

・【国語】校内の平均正答率を全国平均と比較すると、４つの学年が「同程度」、１つの学年が「下回る」という結果であった。前学年の漢字の書き取りに大きな落ち込みが見られ、知識の長期的定着に課題がある。また、「読むこと」における文章全体の論理的な構造理解や「書くこと」における目的に応じた文の書き方理解にも弱さが見られる。
・【算数】校内の平均正答率を全国平均と比較すると、２つの学年が「同程度」、２つの学年が「下回る」という結果であった。内容では、公式の理解など、「知識・技能」には一定の成果が見られる一方で、単位などの量感や２つの数値の変化を捉えること、根拠を明確にした算数的記述力に弱さが見られる。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得

①一般的な語句等の語彙力、基本的な概念や技能、性質等を理解する力
②新たな知識・技能と既習の知識・技能を関連付ける力

思考力・判断力・表現力等の育成

③多くの情報から適切な情報を選択し、自分なりの根拠を持って結論を導く力
④自分や集団の考えを形成し、他者に分かりやすく伝える力

学びに向かう力・人間性等の涵養

⑤困難な課題にも粘り強く向き合う力
⑥自己の学びを振り返り、次にどう生かすかを考える力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得

◎基礎力強化
・朝の音読タイム実施
・既習単元の問題演習
・授業内での漢字学習の徹底

◎「つなげる」活動
・授業冒頭の復習タイム導入
・既習事項とのつながりを意識化する発問
・学びの全体像をつかむための単元計画の提示

思考力・判断力・表現力等の育成

◎問題解決的な学習活動
・児童から問いを引き出し、調べたり考えたりする時間の設定
・考えを導き出すための手立ての充実

◎伝える活動の充実
・ICT の活用
・思考ツールの活用
・意図的なペアやグループでの対話活動

学びに向かう力・人間性等の涵養

◎興味関心を高める工夫
・児童の生活経験に密着した学習課題や活動の設定
・問題解決のための適切な資料提示

◎振り返りでの学びの言語化
・終末での振り返りを実施
・振り返りの視点の明確化
・ノートや学習カードへ継続的な記述指導

本校の特色ある取組

・授業冒頭復習タイム　・読書活動の充実
・ICT 端末の日常的な活用・家庭学習の系統的指導
・高学年算数「チャレンジタイム」の実施（年間8回）
・外国語学習の充実　・縦割り活動による協働活動の充実
・全校児童で行うレクリエーション活動「全校つながれ大作戦」の実施（年２回）

家庭教育との連携

・家庭学習への協力要請
・「ラインズｅライブラリ」の活用
・学校応援団による支援
・個人面談、教育相談の実施
・小中連携した教育相談体制の確立